クリニカスパスウェイ
頸部腫瘍摘出術を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来	入院日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目～退院
日時	月　日	月　日	月　日　時頃		月　日	月　日	月　日	月　日
目標	□体調を整えましょう	□手術の準備をしましょう	**＜術前＞** □安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	**＜術後＞** □身体の回復を目指しましょう	□身体の回復を目指しましょう	□傷の回復を目指しましょう	□傷の回復を目指しましょう	□退院後の生活にむけて準備していきましょう
食事	□制限はありません 	□必要時制限食となります □夜9時以降は絶食です □経口補水又は水を 20時～6時まで飲水行います。午後手術の方は看護師に確認して下さい	□朝6時から絶飲食 ＊うがい、歯磨きはできます。 □午後手術の方は飲水については看護師へ確認してください。	□飲んだり、食べたりはできません。（点滴で補充します）	□朝または昼より食事を開始します □基本的には病院食に近いものをとるようにし、刺激物（香辛料・辛いもの・あついもの）は避けましょう	→	→	
活動	□制限はありません	□制限はありません	□手術着に着替えましょう □時計や貴金属・コンタクトレンズ・義歯・貼り薬などは外してください	□ベッド上安静です。麻酔の影響により、1人で座ったり歩くことができません。 トイレ時はお知らせください。	□病棟内は制限ありません	→	→	□退院後の外来予約票をお渡します
検査処置	□採血・レントゲン・心電図など手術に必要な検査があります	□麻酔科医の診察があります □場合により術側にマーキングをします		□酸素マスクをします □創部近くに管（ドレーン）が入ってきます □場合により、尿道に管が入ります □心電図・SPO2モニターを装着します。	□4階の耳鼻処置室で診察があります □尿道の管が入っている場合は抜きます	□医師の判断のもと、管からの排液量をみて、適時抜去します	→	□創部の状況をみて抜糸を行います
薬	□常用薬は、医師の指示に従い内服してください 	□常用薬は、医師の指示に従い内服してください □入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください □薬剤師から薬の説明があります	□常用薬は医師の指示に従い、内服してください	□抗生剤の点滴をします □必要に応じて、痛み止めや吐き気止めの点滴を使用します 	□常用薬は医師の指示に従い、再開します □抗生剤の点滴をします □必要に応じて痛み止めを使用します	□止血剤と抗生剤の点滴をします	□抗生剤の内服が始まります 	□退院後内服する薬をお渡しします
清潔	□マニュキア、ジェルネイルは落してください。アートメイクや刺青などがある場合はお知らせください。 □爪切り・髭剃りをしてください。	□手術の準備をします（シャワー浴・爪切り・髭剃り）	□髭剃りや爪切りの確認をしてください。お化粧はしないでください。		□身体拭きをしましょう □創部が濡れないよう、洗髪は看護師が手伝います		□医師の許可後、創部が濡れないよう首下シャワーが可能です □洗髪は状況に応じて看護師が行います	□抜糸後は創部を濡らしても問題ありません
指導説明	□喫煙されている方は、禁煙に努めてください。術後の呼吸器合併症や出血のリスクとなります。 □病状・手術の説明を受け、手術同意書・輸血同意書の記入をしていただきます ＜入院時持参物品＞ □常用薬（7日分） □お薬手帳 □日常生活用品 □この説明用紙 □同意書一式	□看護師から病棟案内と、手術前後の説明があります □麻酔科医の診察時に麻酔についての説明があります。また、麻酔同意書の記載をいただきます。		□痛みや気分不快、呼吸が苦しくなった際はナースコールですぐに知らせてください	→		**＜退院後の生活について＞** ・免疫を低下させないように、十分な栄養・休息をとってください ・手洗い、うがいなど感染予防をお願いします ・定期的な診察が必要となりますので、医師の指示通りに受診してください ・創部に強い痛み・赤み・熱感が見られる、発熱があるなどの場合は、受診予定日以外でも外来に電話の上、受診してください ・日焼けをすると傷跡が残ることがあるのでテープでの保護や衣類で工夫しましょう	
					□痛みや気分不快、呼吸が苦しくなった際は看護師に知らせてください □創部に入っているチューブが引っ張られないように注意してください □頸部周囲に傷があるので、頸部を安静にしましょう □うがいや歯磨きを行い、口の中を清潔に保ちましょう			